

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 16
要綱上の事業名称	(22) 避難誘導施設整備事業
細要素事業名	南蒲生浄化センター1号線整備事業
全体事業費	289,000 (千円)

本市における津波対策は、減災の視点を意識し、海岸・河川堤防や道路のかさ上げ、避難施設や避難道路と土地利用の見直し(防災集団移転)や津波からの円滑で確実な避難のための取り組みなどを複層的に組み合わせた、多重防御による総合的な対策である。本事業は円滑な避難のため、宮城野区岡田地区、蒲生地区等の集落から東部道路西側への車による避難、および津波避難施設への徒歩・自転車等による避難を円滑に行うため、津波避難経路として東部地域の幹線道路である南蒲生浄化センター1号線の拡幅等の整備を行うものであり、防災集団移転事業と連携して市民の命と暮らしを守り、津波で被災した本市東部地域の復興まちづくりに相乗効果を加えるものである。

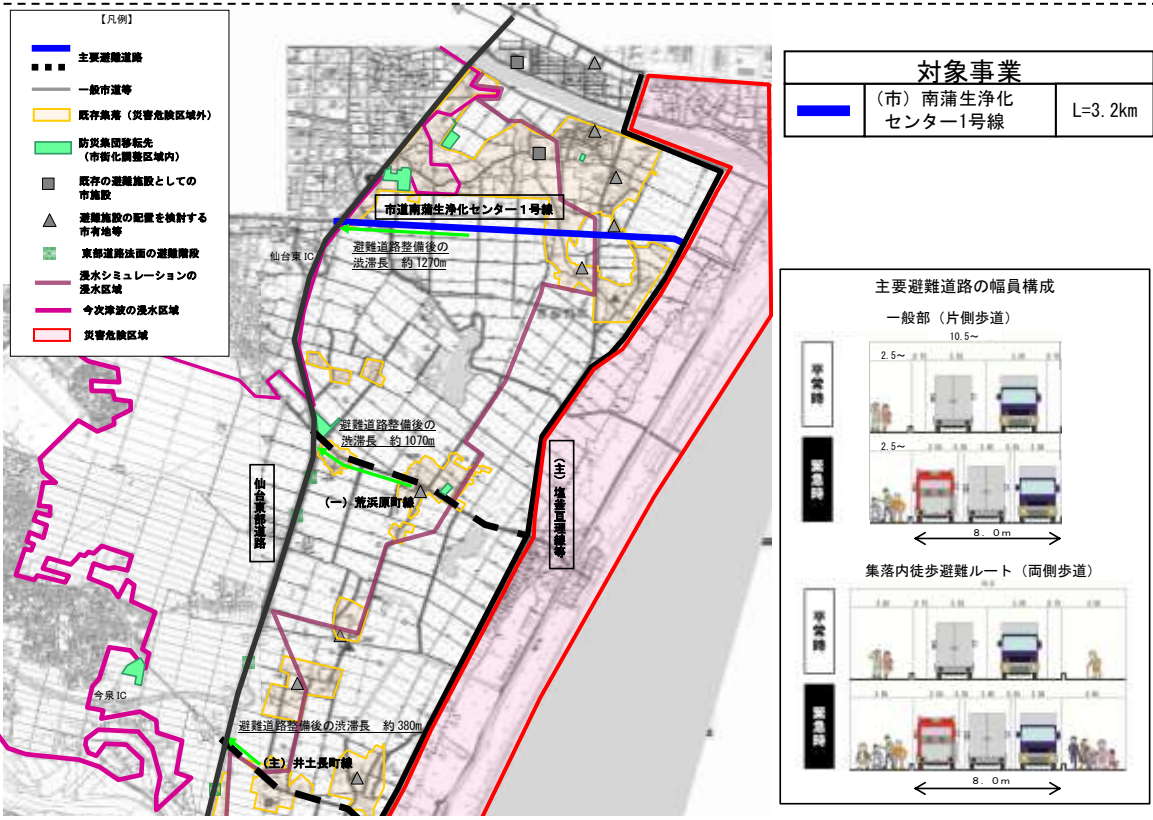
事業概要

整備延長 約3.2km

整備幅員 10.5m~15.0m (現況幅員 10.0m~11.5m)

事業費 (25年度)

1. 路線測量業務委託 16,000千円
2. 用地測量業務委託 14,000千円
3. 地質調査業務委託 5,000千円
4. 設計業務委託 28,000千円



※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 17
要綱上の事業名称	(22) 避難誘導施設整備事業
細要素事業名	東部地域避難経路検討業務
全体事業費	20,000 (千円)
<p>事業概要</p> <p>本市における津波対策は、減災の視点を意識し、海岸・河川堤防や道路のかさ上げ、避難施設や避難道路と土地利用の見直し(防災集団移転)や津波からの円滑で確実な避難のための取り組みなどを複層的に組み合わせた、多重防御による総合的な対策である。本市では平成24年6月から「津波避難施設の整備に関する検討会」を設置し避難のあり方などの検討を行う一方、並行して地域住民との説明会等を開催し地域の意見を集約し、平成25年3月に「津波避難施設の整備に関する基本的な考え方」を取りまとめた。この基本的な考え方では地域集落からの避難について、幹線道路による避難だけでなく、既存の一般市道等の活用により円滑な避難が重要とされたことから、東部地域の道路等の実態を把握する必要があるとあり、集落からの円滑な避難経路の設定および案内誘導方策等の詳細について民間業者に調査させ検討する。</p> <p>本事業は円滑な避難のための調査を行うものであり、防災集団移転促進事業と連携して市民の命と暮らしを守り、津波で被災した本市東部地域の復興まちづくりに相乗効果を加えるものである。</p> <p>調査費(25年度) 東部地域における津波避難経路の検討 20,000千円 ・現況調査、案内誘導方策の検討等</p>	
<p>図: 検討対象となるエリア</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 主要避難道路 — 一般市道等 ■ 既存集落 (災害危険区域外) ■ 防災集団移転先 (市街化調整区域内) ■ 既存の避難施設としての市施設 ▲ 避難施設の配置を検討する市有地等 ■ 東部道路法面の避難階段 — 浸水シミュレーションの浸水区域 — 今次津波の浸水区域 <p>— 検討対象エリア</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

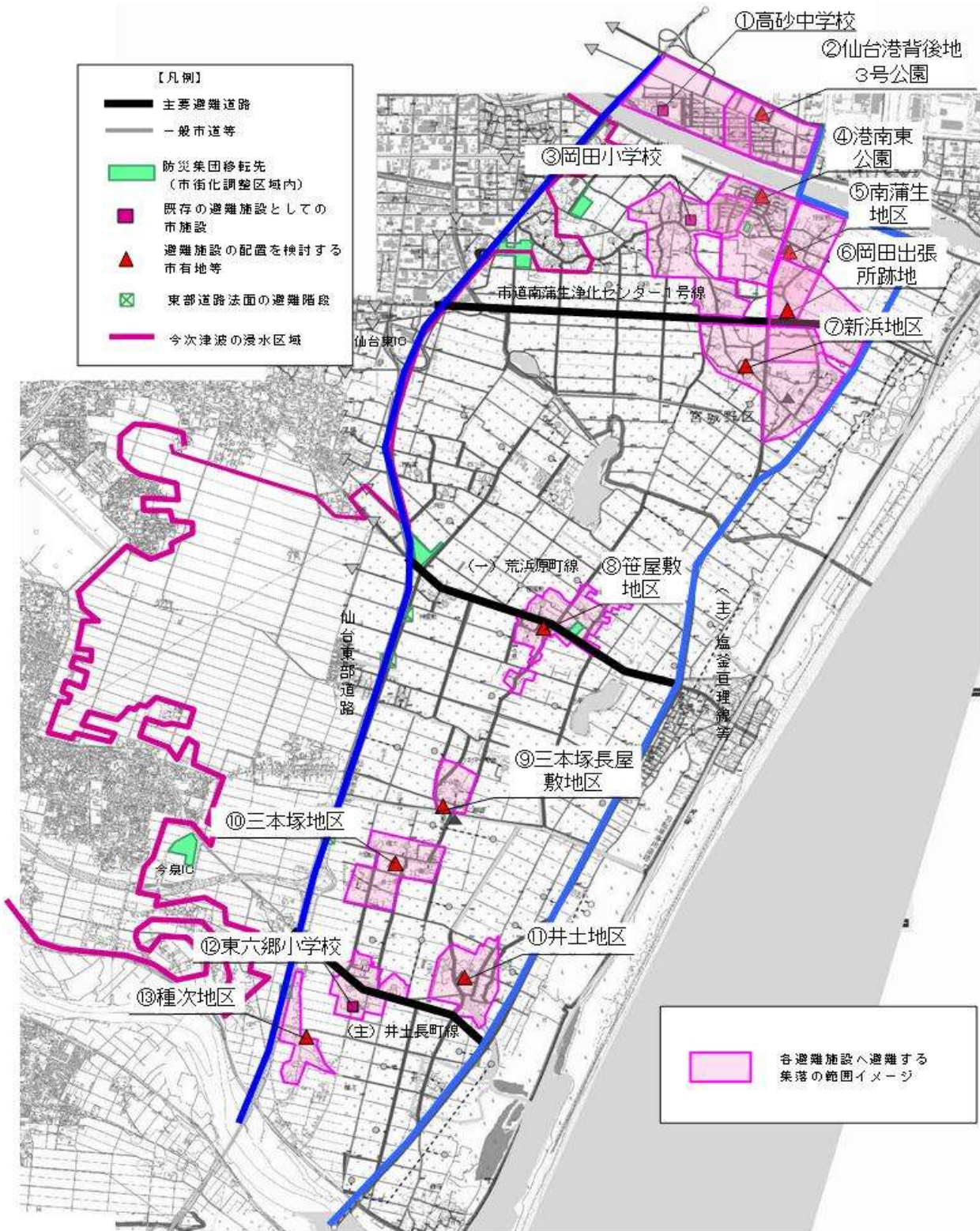
参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18									
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業									
細要素事業名	津波避難施設整備事業									
全体事業費	1,778,955 (千円)									
<p>本市における津波対策は、減災の視点を意識し、海岸・河川堤防や道路のかさ上げ、避難施設や避難道路と土地利用の見直し(防災集団移転)や津波からの円滑で確実な避難のための取り組みなどを複層的に組み合わせた、多重防御による総合的な対策である。</p> <p>本事業は円滑な避難のための施設整備を行うものであり、防災集団移転事業と連携して市民の命と暮らしを守り、津波で被災した本市東部地域の復興まちづくりに相乗効果を加えるものである。</p> <p>対象とする地域は、近くに高台がなく、避難ビルに指定できる建物も限られている。また、車での避難は渋滞等の危険性があるため、基本は徒歩避難とし、徒歩で避難できる範囲(500~900mを設定)内に以下の津波避難施設を整備する。</p> <p>調査設計費、用地費 (事業費) (25年度(今回申請分))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難施設調査設計、用地取得業務 161,762千円 ①高砂中学校(津波避難階段) (今回申請なし) ②仙台港背後地3号公園(避難タワー) 5,426千円(調査・設計費) ③岡田小学校(津波避難階段) (今回申請なし) ④港南東公園(避難タワー) 5,426千円(調査・設計費) ⑤南蒲生地区(避難タワー) 11,828千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑥岡田出張所跡地(消防分団施設併設) 11,388千円(調査・設計費) ⑦新浜地区(避難タワー) 23,879千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑧笹屋敷地区(消防分団施設併設) 27,268千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑨三本塚長屋敷地区(避難タワー) 20,662千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑩三本塚地区(消防分団施設併設) 28,291千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑪井土地区(避難タワー) 16,838千円(用地取得費及び調査・設計費) ⑫東六郷小学校(津波避難階段) (今回申請なし) ⑬種次地区(消防分団施設併設) 10,756千円(調査・設計費) <p><参考></p> <table border="0"> <tr> <td>H25年度</td> <td>用地測量費等</td> <td>43,400千円(H25.3.22申請分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査設計費、用地費</td> <td>161,762千円(今回申請分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事費・標識整備</td> <td>350,096千円(今後追加申請分)</td> </tr> </table>		H25年度	用地測量費等	43,400千円(H25.3.22申請分)		調査設計費、用地費	161,762千円(今回申請分)		工事費・標識整備	350,096千円(今後追加申請分)
H25年度	用地測量費等	43,400千円(H25.3.22申請分)								
	調査設計費、用地費	161,762千円(今回申請分)								
	工事費・標識整備	350,096千円(今後追加申請分)								

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

津波避難施設整備箇所図



参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	②(仮称)仙台港背後地3号公園津波避難施設整備事業
全体事業費	172,306 (千円)
<p>早期整備の観点から、市有地を活用し、津波避難施設を整備するものである。また、この地域においては、指定避難所となっている高砂中学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がないことから、仙台港背後地3号公園内へ津波避難タワーの整備を行う。</p> <p>調査・設計費 (事業費) (H25年度) ・(仮称)仙台港背後地3号公園津波避難施設整備に係る調査設計 5,426千円(測量設計費) 外構工事設計等委託(民間)</p> <p><参考> H25年度 用地測量費・地盤調査費・本体設計費 10,000千円(H25.3.22付申請分) 調査・設計費(外構工事等) 5,426千円(今回申請分) 工事費 150,607千円(今後追加申請分)</p>	

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18									
要綱上の事業名称	(27) 防災拠点施設整備事業									
細要素事業名	④(仮称)港南東公園津波避難施設整備事業									
全体事業費	172,306 (千円)									
<p>早期整備の観点から、市有地を活用し、津波避難施設を整備するものである。また、この地域においては、指定避難所となっている岡田小学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がないことから、港南東公園内へ津波避難タワーの整備を行う。</p> <p>調査・設計費 (事業費) (H25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)港南東公園津波避難施設整備に係る調査設計 5,426千円(測量設計費) 外構工事設計等委託(民間) <p><参考></p> <table border="0"> <tr> <td>H25年度</td> <td>用地測量費・地盤調査費・本体設計費</td> <td>10,000千円(H25.3.22付申請分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査・設計費(外構工事等)</td> <td>5,426千円(今回申請分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事費</td> <td>150,607千円(今後追加申請分)</td> </tr> </table>		H25年度	用地測量費・地盤調査費・本体設計費	10,000千円(H25.3.22付申請分)		調査・設計費(外構工事等)	5,426千円(今回申請分)		工事費	150,607千円(今後追加申請分)
H25年度	用地測量費・地盤調査費・本体設計費	10,000千円(H25.3.22付申請分)								
	調査・設計費(外構工事等)	5,426千円(今回申請分)								
	工事費	150,607千円(今後追加申請分)								

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑤(仮称)南蒲生地区津波避難施設整備事業
全体事業費	183,271 (千円)
<p>この地域においては、指定避難所となっている岡田小学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がないことから、市施設である岡田会館の敷地を活用するとともに、避難経路確保のため（建築基準法上の接道要件を満たすためにも必要）県道と接するように土地を取得し、津波避難タワーの整備を行う。</p> <p>用地取得費、調査・設計費（事業費）（H25年度） ・(仮称)南蒲生地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 11,828千円 1. 用地取得費 3,900千円（用地費） 2. 調査・設計委託費 7,928千円（測量設計費） 外溝工事設計等委託（民間）</p> <p><参考> H25年度 用地測量費・地盤調査費・本体設計費 10,000千円（H25.3.22付申請分） 用地取得費及び調査・設計費（外溝工事等） 11,828千円（今回申請分） H26年度 工事費・備蓄品整備・標識整備 161,443千円</p>	

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18												
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業												
細要素事業名	⑥ (仮称) 岡田出張所跡地津波避難施設整備事業												
全体事業費	206,087 (千円)												
<p>この地域においては、指定避難所となっている岡田小学校までの避難距離が遠く、集落の近くに津波避難に適した建物がない。また、震災により被害を受けた消防団施設の復旧の必要性もあり、津波避難施設と消防団施設とを併設することにより市民が安心して暮らすことができるまちづくりの促進が図られるため、消防分団の機械器具置場と併設し津波避難スペースを整備する。消防分団施設に係る部分については、消防庁の「消防防災災害復旧補助金」を充てるものとする。</p> <p>調査・設計費 (事業費) (H25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称) 岡田出張所跡地津波避難施設整備に係る調査設計 11,388千円 (測量設計費) 避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間) <p><参考></p> <table border="0"> <tr> <td>H25年度</td> <td>用地測量費・地盤調査費</td> <td>8,000千円 (H25.3.22付申請分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査・設計費 (避難施設設計等)</td> <td>11,388千円 (今回申請分)</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>工事費</td> <td>179,494千円</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>備蓄品整備・標識整備</td> <td>7,205千円</td> </tr> </table>		H25年度	用地測量費・地盤調査費	8,000千円 (H25.3.22付申請分)		調査・設計費 (避難施設設計等)	11,388千円 (今回申請分)	H26年度	工事費	179,494千円	H27年度	備蓄品整備・標識整備	7,205千円
H25年度	用地測量費・地盤調査費	8,000千円 (H25.3.22付申請分)											
	調査・設計費 (避難施設設計等)	11,388千円 (今回申請分)											
H26年度	工事費	179,494千円											
H27年度	備蓄品整備・標識整備	7,205千円											

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑦(仮称)新浜地区津波避難施設整備事業
全体事業費	184,572 (千円)
<p>この地域においては、指定避難所となっている岡田小学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がない。また、集落の内陸側に活用可能な市有地等がないため、新たに土地を取得し、津波避難タワーの整備を行う。</p> <p>用地取得費、調査・設計費 (事業費) (H25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)新浜地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 23,879千円 <ol style="list-style-type: none"> 1. 用地取得費 7,350千円 (用地費) 2. 調査・設計委託費 16,529千円 (測量設計費) 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間) <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> H25年度 用地取得費及び調査設計費 23,879千円 (今回申請分) H26年度 工事費・備蓄品整備・標識整備 160,693千円 	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑧ (仮称) 笹屋敷地区津波避難施設整備事業
全体事業費	168,060 (千円)

この地域においては、指定避難所となっている七郷中学校までの避難距離が遠く、集落の近くに津波避難に適した建物がない。

また、震災により被害を受けた消防団施設の復旧の必要性もあり、津波避難施設と消防団施設とを併設することにより市民が安心して暮らすことができるまちづくりの促進が図られるため、消防分団の機械器具置場と併設し津波避難スペースを整備する。消防分団施設に係る部分については、消防庁の「消防防災災害復旧補助金」を充てるものとする。

用地取得費、調査・設計費 (事業費) (25年度)

- ・ (仮称) 笹屋敷地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 27,268千円
 1. 用地取得費 9,240千円 (用地費)
 2. 調査・設計委託費 18,028千円 (測量設計費)
 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間)

<参考>

H25年度 用地取得費及び調査設計費	27,268千円 (今回申請分)
H26年度 工事費	133,882千円
H27年度 備蓄品整備・標識整備	6,910千円

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑨(仮称)三本塚長屋敷地区津波避難施設整備事業
全体事業費	182,230 (千円)

この地域においては、指定避難所となっている六郷中学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がない。また、集落の内陸側に活用可能な市有地等がないため、新たに土地を取得し、津波避難タワーの整備を行う。

用地取得費、調査・設計費 (事業費) (25年度)

- ・ (仮称)三本塚長屋敷地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 20,662千円
 1. 用地取得費 4,200千円 (用地費)
 2. 調査・設計委託費 16,462千円 (測量設計費)
 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間)

<参考>

H25年度 用地取得費及び調査設計費 20,662千円 (今回申請分)

H26年度 工事費・備蓄品整備・標識整備 161,568千円

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑩ (仮称) 三本塚地区津波避難施設整備事業
全体事業費	214,990 (千円)

この地域においては、指定避難所となっている六郷中学校までの避難距離が遠く、集落の近くに津波避難に適した建物がない。
 また、震災により被害を受けた消防団施設の復旧の必要性もあり、津波避難施設と消防団施設とを併設することにより市民が安心して暮らすことができるまちづくりの促進が図られるため、消防分団の機械器具置場と併設し津波避難スペースを整備する。消防分団施設に係る部分については、消防庁の「消防防災災害復旧補助金」を充てるものとする。

用地取得費、調査・設計費 (事業費) (25年度)
 ・ (仮称) 三本塚地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 28,291千円
 1. 用地取得費 7,800千円 (用地費)
 2. 調査・設計委託費 20,491千円 (測量設計費)
 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間)

<参考>
 H25年度 用地取得費及び調査設計費 28,291千円 (今回申請分)
 H26年度 工事費 179,494千円
 H27年度 備蓄品整備・標識整備 7,205千円

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	⑪(仮称)井土地区津波避難施設整備事業
全体事業費	156,167 (千円)

この地域においては、指定避難所となっている六郷中学校までの避難距離が遠く、住宅地の近くに津波避難に適した建物がないことから、市有地を活用するとともに、不足する分の土地を取得し、津波避難タワーの整備を行う。

用地取得費、調査・設計費 (事業費) (25年度)
 ・(仮称)井土地区津波避難施設整備に係る用地取得及び調査設計 計 16,838千円
 1. 用地取得費 572千円(用地費)
 2. 調査・設計委託費 16,266千円(測量設計費)
 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託(民間)

<参考>
 H25年度 用地取得費及び調査設計費 16,838千円(今回申請分)
 H26年度 工事費・備蓄品整備・標識整備 139,329千円



- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18									
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業									
細要素事業名	⑬ (仮称) 種次地区津波避難施設整備事業									
全体事業費	84,684 (千円)									
<p>この地域においては、指定避難所となっている六郷中学校までの避難距離が遠く、集落の近くに津波避難に適した建物がない。</p> <p>また、震災により被害を受けた消防団施設の復旧の必要性もあり、津波避難施設と消防団施設とを併設することにより市民が安心して暮らすことができるまちづくりの促進が図られるため、消防分団の機械器具置場と併設し津波避難スペースを整備する。消防分団施設に係る部分については、消防庁の「消防防災災害復旧補助金」を充てるものとする。</p> <p>調査・設計費 (事業費) (25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称) 種次地区津波避難施設整備に係る調査設計 10,756千円 (測量設計費) 用地測量、地盤調査、避難施設設計、外構工事設計等委託 (民間) <p><参考></p> <table border="0"> <tr> <td>H25年度</td> <td>調査設計費</td> <td>10,756千円 (今回申請分)</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>工事費</td> <td>68,168千円</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>備蓄品整備・標識整備</td> <td>5,760千円</td> </tr> </table>		H25年度	調査設計費	10,756千円 (今回申請分)	H26年度	工事費	68,168千円	H27年度	備蓄品整備・標識整備	5,760千円
H25年度	調査設計費	10,756千円 (今回申請分)								
H26年度	工事費	68,168千円								
H27年度	備蓄品整備・標識整備	5,760千円								

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。